

公開質問状回答 福井たかお

1. 政策について

18歳までの子ども医療費無償化と減税の実現～新時代の福津へ～

主な4つの政策

- 1、「福津発！ 妊娠から子育てまで 全力サポート！」
- 2、「市民税・法人市民税 5%減税 現役世代の暮らしを守る！」
- 3、「起業家・企業誘致の新時代を創造！」
- 4、「未来への投資 国保・介護保険料にも使えるデジタルポイント！」

「妊娠から子育てまで 全力サポート！」

「次世代の人材育成」未来を担う子どもたちの成長を第一に、安心して産み育てやすい環境整備、小・中学校の教育環境を充実し、子ども達の生きる力を育みます。

- ・18歳までの子ども医療費の無料化 高校3年までの無料化
- ・第2子以降の保育料の段階的無料化
- ・0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」
- ・子ども未来（習い事）補助制度

「市民税・法人市民税 5%減税 現役世代の暮らしを守る！」

減税は行財政改革の力強い推進力と経済活性化にもつながります。減税をやることで、物価高から市民生活を守り、中小零細企業や個人事業者を守ります。

私が考える政策は、皆さんとの意見交換を通じて、追加や修正を行い、進化させていただきます。

・起業家・企業誘致の新時代を創造！

・「夢を実現するチャレンジ・カフェ 福津に起業家の聖地 誕生！」

福津市で起業したい学生からシニアまで、誰でも、専門家によるアドバイスや学び、起業家や市民との交流・意見交換、異業種交流などの場を提供し、創業、運営、事業拡大までを一貫サポートします。

・「企業誘致の新時代 福津が、あなたの会社を待ってる！」

都市計画区域を再編し、企業誘致可能なインフラ整備を行い、観光や豊かな環境など地域資源の特性を活かし、地場産業と結びつくような企業誘致を進め、新しい雇用を生み出します。

その他

・新たな地域ブランドの確立「稼げる！農・水産業」の促進

・持続可能な水産業・農業の確立のため「スマート農・水産業」の推進

「未来への投資 国保・介護保険料にも使えるデジタルポイント！」

プレミアム付き商品券や地域社会へのボランティア活動やふるさと納税の還元などに加え、健康に関する活動や事業への参加などでもポイントがもらえ、加盟店での決算に加え、国保や介護保険料にも使えるようにします。

その他

・健康づくり 治療から「予防」へ 買い物・交通支援

・健康寿命の延伸！

・まさかの時を守る！地域防災の推進

・障害者に対する理解と支援の促進、就労支援

「活力ある市役所へ」

市職員の能力とやる気を引き出し、市民参加による自治体経営を行います。

1、「枠配分予算制度」の導入

- 2、公共施設は「管理」から、稼ぐ！「経営」意識へ
- 3、「働き方改革」業務のあらゆる分野でのデジタル化
- 4、エビデンス（証拠）に基いた戦略的自治体経営
- 5、市長懇談会、対話のまちづくりを実現

2、小中学校の大規模校、過大規模校の対策について

○新設校について

教育委員会と市長部局による協議のもと議会で提案が行われ、議会で議決されて建設が進んでいます。新設校については、福間小学校、津屋崎小学校の学習環境の整備、先生の負担軽減、学童保育の確保などの観点から建設を進めていく必要があると考えます。

しかしながら、保護者をはじめ周辺地域では不安に感じている人も多いため、安全性の問題や校舎の建物案、その後の利用方法など説明の機会を増やし、建設に向けて理解を進めていく必要があると考えます。また、周辺環境についてもハード面での整備を行なっていく必要があると考えます。

○福間南小学校区の過密化緩和について

小学校の過密化については、市・校長・保護者、それぞれ優先順位に思っていることも違うので、エビデンスをおさえつつ、連携強化（意見交換の数を増やす、というよりも着地先を見つけられる議論）をしたいと思っています。その上で、選択制の学区制も含む校区再編の検討、家庭科室や理科室などの特別教室の導入を検討していきます。また、児童・生徒が多いことから教育の機会が損なわれないように、ソフト面でも図書や教材などの確保を進めていきます。

3、教育長人事について

1年半以上、不在の状況が続いているため早急に教育長を擁立する必要があると考えます。市内の学校で管理職を経験し、かつ福岡県の教育委員会や近隣自治体とも連携できる人材が必要だと考えます。福津市内の子どもたちの学びの充実を推進していく人を擁立するためリーダー自らが働きかけていく必要があります。

4、分別ゴミの収集方法について

地域の分別ゴミの収集については、現在、清掃工場の玄海事務組合での一本化、機能の見直しの議論があるため、分別ゴミの収集見直しそのものを考えていく必要があると考えます。そのうえで、短期的にはごみ収集を行うために移動が困難な方へのフォローや引っ越してきた人や外国の方向けの周知方法の工夫、互助組織の確立を行う必要があります。また、福岡地域での土日に可能な分別ゴミステーションの導入を進めていくことも必要だと考えます。

5、給食費無償化・オーガニック給食について

福津市の財政状況を鑑みると、まずは国への給食費無償化の意見書や陳情を行う必要があると考えます。給食費の無償化を行なっていくため、給食費無償化の可能性も庁内で議論し、現在の物価高の影響で所得状況が厳しい方からでも導入できるように政策を進めていきます。

オーガニック給食については、無農薬の野菜の導入を一部進めている小学校もあるので、安定的な供給に向けた財源や、国のみどりの食料戦略なども活用して全小・中学校に導入可能かどうかの協議会、制度設計を考えていきます。